

第5回 楽しさ森×2(もいもい)調査・思い出調査編はこんな感じでした。

調査班	平成24年 秋 班	調査員 全員の 氏名	第1期雑木林調査隊 石井、白井、広島、水村、 いー、和田(敬称略)	サポート	森のカルテ作成準備委員会 椎名 豊勝 委員長 山田 真久 委員
-----	--------------	------------------	---	------	---------------------------------------

調査日時	平成24年10月17日(水) 10時00分～12時10分	場所	小平市立上宿図書館 2階集会室他	天気	晴れ
------	---------------------------------	----	------------------	----	----

1 思い出調査について考えてみましょう。

(1) 思い出調査とは何でしょう。

森と人の関わりが比較的強かった時代をご存じの方々や森の所有者の方などの体験談、そして地域でしか知れない情報などを丁寧に聞き取りしていく調査のことを「思い出調査」と呼ぶことにしました。思い出調査により地域の人たちと交流を深めながら、地域の再発見もできるのではないかと考えています。

(2) まずは準備をしましょう。

思い出調査を実施する前に次のことを準備しましょう。

①どなたに聞き取りするのか確認しましょう。

まずは、森の所有者の方に確認しましょう。森の所有者の方の都合が悪い場合は、自治会長さんや近所の物知りな方を紹介してもらいましょう。

→森の所有者の方からのご紹介で清水さんになりました。

②何を聞くのか決めましょう。

質問の内容をあらかじめ決めておけば当日の話はしやすくなります。しかし、聞き手の予備知識がないと、話し手の興味は薄らいでしまいます。質問だけを考えるのではなく、質問に関係することを勉強しておきましょう。

→(4)②のとおり決めました。全てを聞くことよりも、話しやすい雰囲気重視でいきましょう。

③交流を深めるための資料を集めましょう。

聞き取りを中心とした調査では、資料を見ることで地域の人たちも話がしやすくなります。特に森がたくさんあった昔の写真や地図、昔の郷土資料などを見てもらうことで、子どもの頃の記憶が鮮明に戻ったりするものです。

(3) 調査の心構えを考えましょう。

思い出調査は、初めて会う人との会話なので緊張すると思いますが、仲間と誠意をもって話しかければ良い結果となります。次の5つ心構えを考えてみました。

①地域の人たちに敬意を持ちましょう。

②肯定する会話をしましょう。

③ゆっくり大きな声で話しましょう。

④絵や図柄を書きジェスチャーも交えましょう。

⑤笑顔で話しましょう。



清水さんご持参の写真(昭和23年頃撮影)

(4) さあ、思い出調査の準備をしましょう。

①場所や時間を決めましょう。

1) 思い出調査の語りべ

氏名 清水 一夫(しみず かずお) さん 性別 男性 年齢 85歳(昭和2年生まれ)
連絡先電話 省略

2) 森の所在地

小平市 小川町1丁目から中島町周辺の雑木林について

3) 聞き取りの場所・時間

小平市立上宿図書館2階 集会室 10時から1時間の予定。
(雑木林調査隊は9時から打合せ)



清水さん

4) ご紹介してくれた方

氏名 小野 さん 性別 男性 年齢 83歳(昭和5年生まれ)
連絡先電話 省略

②何を聞くのか決めましょう。

1) お子さんの頃、お住まいの近くの雑木林はどんな感じでしたか？

高さ 広さ 大きさ

木の種類

果実

下草

2) お子さんだった頃、印象に残っている雑木林での思い出はありますか？

遊び 作った物 食べたもの

催し 利用した物

3) 雑木林などでの言い伝えや伝説、昔話みたいなものはありますか？

4) 雑木林などで食べたもの、収穫して調理したものなどありますか？

①雑木林で食べれそうなキノコ

(ハツタケ・)

②雑木林で食べれそうな果実

(桑の実・サクランボ・ヤマモモ・キイチゴ・モミジイチゴ・アケビ・)

③雑木林で食べれそうなもの

(ゼンマイ・)

5) ご家族の山仕事の役割はありましたか？

①おじいさんは-----

おばあさんは-----

②お父さんは-----

お母さんは-----

③女の子は-----

男の子は-----

6) 雑木林の生産物(薪炭、堆肥、落葉、木材、竹材、山菜)は主に市場出し又は自家用でしたか？

①自家用の場合は-----何か思い出がございますか。

②市場出しの場合は-----主に近隣地域の市場でしたか、当時の様子を聞かせて下さい。

7) 雑木林の生産物及び保全管理方法は時代により違って来ましたか？

①戦前-----

②戦後(昭和21年～30年頃)---

③戦後(昭和31年以後)-----

8) 雑木林の作業は集落協同で行うことは有りましたか？

在りましたら----- その様子を教えてください。

9)現在、小平市では雑木林ボランティアが活動しています。小平市の緑環境を次世代の子供たちへ継承するためです。そこでは長老経験者の指導を求めています。

ご支援、ご協力のお願いは可能ですか。・

10)

ご自身で質問を
考えてみましょう。

2 準備した内容をまとめてみました。

(1) 連絡して、調査日程などを決めました

① 聞き取り調査日程・場所等

日時: 平成24年10月17日(水) 9時から12時30分

場所: 上宿図書館2階集会室

9時から10時

設営及び打合せ(調査員9時集合)

10時から11時30分

聞き取り調査(語りべ10時来場)

11時30分から11時45分

集会室での記念撮影及び片付

12時00分から12時30分

近隣マンションに移動して高所からの森撮影

12時30分

解散

(2) 持っていく物を決めました

① 消耗品・備品関係

・ワークシート ・聞き取り内容メモ ・集合写真用横断幕

・鉛筆10本 ・受付帳 ・ICレコーダー ・カメラ ・ガムテープ

② 資料関係

・現在の地図 ・明治頃の地図 ・昭和20年代～最近の空中写真

・雑木林に関する生活写真(町誌から抜粋)

・図鑑(キノコ・樹木・草花・昆虫など)

③ ご自身で必要なもの

・参考になるものを各自持参

(3) 思い出調査の流れ

① 開会のあいさつ (森のカルテ作成準備委員会 椎名委員長)

② 清水一夫さんの紹介

③ 思い出づくり(雑木林調査隊による聞き取り調査)

④ 記念撮影

※清水さんには、写真若しくは映像がHP等に掲載されることは事前に了承していただいております。

⑤ 近隣のマンションの屋上から森の観察会実施

⑥ 解散



思い出づくりの様子



近隣マンションの屋上から



3 思い出調査の聞き取り結果

ここでは、聞き取り調査のことを思い出づくりと言います。思い出づくりの結果の一部をご紹介します。全編は、ホームページの「森のカルテ作成準備委員会要録(平成24年度第5回)思い出調査の結果」に収録されています。

- ① 昔は、雑木林を「山」って呼んで、用水路を「川」って言ってたんですよ。



遠くから見ると山のような気も



小平には川がなかったから？呼ぶの？

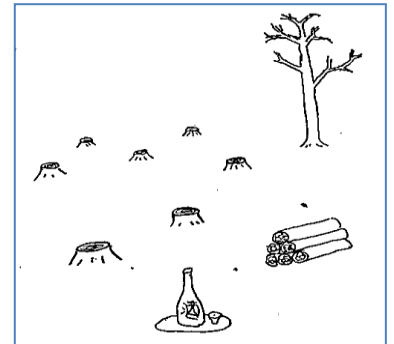
- ② 三角形の土地にあった雑木林は三角山って呼ばれていたよ。玉石を積んだ塚があった三角山もあって、神が宿っているからか、庚申山(こうしんやま)ともいわれていたよ。

小川三差路のあたりの空中写真です。現在も概ね三角形になっているようです。写真には写っていませんが小平の西端部の現在の小平監視所付近も大きな三角形の地形ですが、山の神とも言われていたそうです。



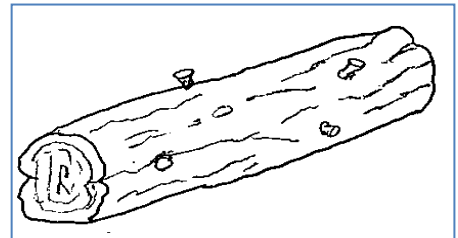
清水さんご持参の写真(昭和23年頃撮影)

- ③ 山(雑木林)の樹木は、15~20年経つと、一山を切らせてもらった。でも1本だけ樹木を残したんだ。くず掃き(落葉掃き)は毎年やって肥料を作ったんだ。どちらも地主さんにお金を払ってやらせてもらったものだよ。

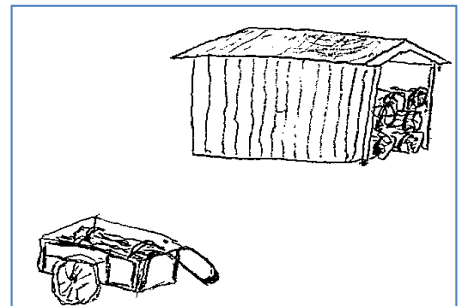


- ④ 山の神様のために1本だけ樹木を残して、お神酒をかけて、作業の安全を祈願したもんだ。

- ⑤ 切り出した樹木は、薪や炭にした。シイタケのほだ木にもしたもんだ。そう言えばマツノキは、真っ直ぐ伸びるから、三世代は切らないで残して、家の建替えの時に梁として使ったもんだ。

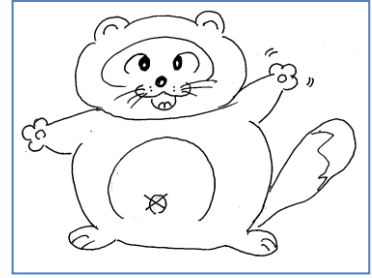


- ⑥ 山が切られた後には、ススキがいっぱい生えてきた。そのススキは、屋根の茅葺(かやぶき)に使ったんだ。次に茅葺する家のために粗朶(そだ)小屋に保管して、たまたらみんなど協力して葺き替えの作業をしたなあ。



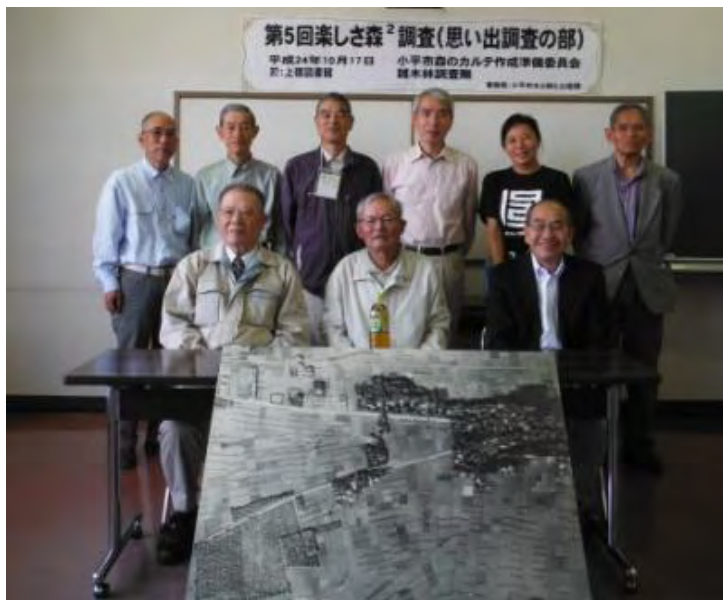
⑦ 山(雑木林)には、マツタケが生えてた、他にはシメジやハツタケがあった。だいたい、ほうとうどんのような煮込みに入れて食べたなあ。

⑧ 山(雑木林)には、キツネはあまりいなかったが、タヌキはいた。イタチや野ウサギも多かった。



⑨ 松の木通りの松の木は、戦後、地元青年団が植えたんだ。戦時中に空襲で焼けちゃったりしたからね。

⑩ 小平の木は勝手に切れなかったが、いろんな木を利用して野火止用水に堰をつくりプールにしてよく泳いだなあ。



思い出づくり終了後の集合写真